

「県民の意見を聴く会」でいただいた主な意見・提言

* 市町村意見

備前エリア

- ・ 県の施策の認知度が低いので、県民意識の向上のため、様々な取組を県民にわかりやすく伝えてほしい。
- ・ 災害に強いという利点を生かし、合併浄化槽の積極的な普及を検討してほしい。
- ・ 家庭や学校で広く使われている除草剤について、生態系への影響を危惧している。
- * 県民の施策に対する満足度が低い現状では、達成レベルの判定が甘くないか。
- * 市では防災・防犯の観点だけでなく、環境面からも空き家、空き地、耕作放棄地対策も重要なものと位置付けている。
- * クールビズ・ウォームビズ、エコドライブは、国の進める運動「クールチョイス」でまとめて推進してはどうか。
- * 廃棄物(一般・産業)の区分判断について、市町村職員が研修する場を設けてほしい。

備中エリア

- ・ 特定外来生物のヌートリアやジャンボタニシにより、保護の対象であるミズアオイが絶滅する危機にあるため、この状況を解決してほしい。
- ・ 外来生物の生態系への悪影響について、関心を持っている県民の方は少ない。正しい認識を普及することが大切である。
- ・ 子どもの頃から環境に対する興味・関心を育くむことが重要である。
- ・ 行政と民間が協働すれば大きな力になるので、継続して取り組む必要がある。
- * 災害廃棄物について、国の想定は大規模な災害が発生した場合であり、複数市町で協力して総合的な計画を策定した方がいいのではないか。
- * 電気自動車の充電について、有料化すべきという意見もある。
- * 干潟でのゴミ問題が深刻であるが、河川のゴミ問題について土木部局での認識は十分ではない。県として横断的に対応してほしい。
- * 環境問題に関して積極的な団体も多いが、横のつながりを強化すれば、お互いの活動がより充実するのではないか。

美作エリア

- ・ ペットボトル等の家庭ごみが、河川の上流から海へ流れ、マイクロプラスチック等になり、人間を含めた生態系に影響を与えていることを、県北の住民も意識する必要がある。
- ・ マイバック運動を本気で推進するのであれば、ノーレジ袋デーの毎月10日は、レジ袋を有料または配らないようにするなどの取組が必要だ。
- ・ 環境問題についての指導者を育成できる講習等を県北でも検討してほしい。出前講座の講師が不足しており、講座を継続して開催できない。
- ・ 環境学習を住民主体でできる仕組みづくりを検討してほしい。
- ・ 家電製品の不法投棄を減少させるには、自動車の場合と同様に、リサイクル料金を販売時に徴収することを検討してほしい。
- * 環境学習を進めるにあたり、講師をボランティアによる協力に頼っていたのでは、若い指導者が育っていかない。人材育成するための補助制度はできないのか。
- * 不法投棄の撲滅のためには、県民一人ひとりの意識の底上げが不可欠だ。罰則や取締りの強化等を検討してほしい。
- * 計画の進捗状況という数字だけを追うのではなく、優良な取組事例を県民や市町村に情報提供すれば、理解や認識が深まるのではないか。